

# 長野 美里 個展

NAGANO Misato solo exhibition

KUNST ARZT

www.kunstarzt.com

press release

2020 5 4

KUNSTARZT-324

## 自由研究 夏

Independent research summer

KKUNST ARZT では、昨年に引き続き、長野美里の個展を開催します。長野美里は、独自のユーモラスな視点で、あらゆる文化・風習にメスを入れるアーティストです。本展は、「ポイ捨て」がメインテーマです。モノが落とされた場所、時間、形状、置き方といった記録をもとに、モノを落とした人物の心理や行動理由について、独自の分析と想像を通して作品化していきます。見えない脅威にさらされる現代、誰のモノか分からない痕跡の考察は、リアルに突き刺さることでしょう。雑誌編集者の視点を併せ持つ、このアーティストならではのアートです。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)

\* 本展よりアーティスト名義が  
ピエールナガノから長野美里になります。



### 経歴

1995年 大阪府出身  
2018年 京都市立芸術大学 美術科版画専攻卒業

### 個展

2019年 自由研究 春 KUNST ARZT  
2017年 九匹のネズミ スリースター京都

### グループ展

2018年 三条富小路書店 ギャラリー h20  
2018年 京都市立芸術大学制作展 京都市立芸術大学  
2016年 Multiply それぞれの地点より燐光する視点 京都精華大学ギャラリーフロール  
2016年 刷り、かわり HOTEL ANTEROOM KYOTO、元 崇仁小学校

2020年7月7日(火) から 12日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

自由研究 夏  
Independent research summer

アーティスト・ステートメント

世の中には色々わからないことやものがあります。  
すべて大体理由や経緯があるものですが、多くの人はそれらについていちいち考えたりしません。  
しかし、それらのわからないこと、あるいは考えたこともないことについて、いちいち考えるのがとても楽しいと感じます。  
「研究」と銘打つほど大それたものではないので、この考えることを「自由研究」と銘打つことにしました。

展覧会コンセプト

道に落ちているもの「ポイ捨て」について

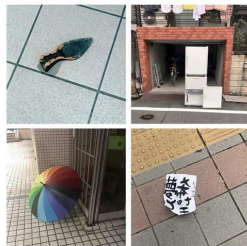
そのものが落とされた場所、時間、形状、置き方などを記録し、  
そのものを落とした人物の心理や行動理由について考察する。  
そもそも落としたものなのか、落ちてしまったものなのか、つ  
まり「ゴミ」なのか「落し物」なのかその境界線は一度道に落とされると曖昧になる。  
あるいは「ゴミ」ひとつ取っても、故意に落とされたものなのか、  
たまたま落ちてしまったものなのか、それは置き方によって推測が可能となる。  
特に故意に落とされた「ゴミ」は落とされた場所にアフォードしている。  
その環境に適した置かれ方をしている場合は、十中八九故意に落とされた「ゴミ」であると予測できる。  
道に落ちているものを通して、人間とものとの関わり、人間とものと環境の関わりについて考える。

ポイ捨てと人の心理

必然か偶然か

道に落ちているものは大きく分けて二種類。  
「ゴミ」と「落し物」である。明らかに「ゴミ」とわかるものもあれば「ゴミ」なの「落し物」なのかわからずと見ただけではわからないものもある。

さらに「ゴミ」の中でも「故意に捨てられた」のか「たまたま落ちてしまった」のかにも分けられる。「故意に捨てられた」ものは実は一番わかりやすい。環境にアフォードするように捨てられているのだ。そこから人の心理が浮かび上がってくる。



ウィーンポイ捨て探し

2019年4月ウィーンでもポイ捨てを探す。注意しながら探す少し難航する。なぜかというウィーンの街中にはゴミ箱が多く設置されているからである。大体10m間隔くらいで置いてある。台北のコンビニレベルでゴミ箱には困らないのだ。ゴミ箱の口はちょうど捨てやすい手のあたりに設計されており、タバコも捨てられるようにデザインされている。とはいえポイ捨ても発見できた。ウィーンのポイ捨てについて考える。



ポイ捨てのスポット

ポイ捨てが起りやすい場所というのがある。某所の三井住友銀行 ATM。壁に備え付けられた「連絡箱」にはよく「落し物」が置かれている。大抵数日その「落し物」は無くなり、また新たな「落し物」が置かれていたりする。

